



保護者の皆様方には、いつも当園の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。12月に入っても、寒さに震えることもなく例年に比べると暖かい日が続いています。やはり地球温暖化の影響なのでしょうか、京都の観光地でも紅葉が随分遅れているようです。

さて、先月下旬にこの月見ヶ丘こどもの家が加盟している日本キリスト教保育所同盟という組織がありますが、その京都地区が主催する日間の第8回福島現地研修に参加してきました。2011年3月11日に発生した東日本大震災。初日は宮城県仙台市の震災遺構・荒浜小学校や名取市閑上(ゆりあげ)の地を訪ね、想定を遙かに超えた16メートルを超える大津波の凄まじさや、復興は進んでいるものの、多くの犠牲者とそこに住む人々の日常生活を一瞬にして奪った爪痕が震災後13年経った今も、歴然と残っている姿に言葉を失うばかりでした。



園庭に設置された放射能測定器

翌日は、東京電力福島第一原発から24.5キロしか離れていない原町聖愛こども園を訪ねました。町はとても静かです。しかし、今も放射能汚染状況重点調査地域に指定されているこの町は、目には見えない放射能低線量被曝による恐怖と隣り合わせの生活。放射能の測定機器で地面や作物の放射能線量を図る日常生活。

3日目に訪ねた福島県会津若松市の会津放射能情報センターでは、さらに、放射能汚染の深刻さと、国が推進する「原発安全神話」と「放射能安全神話」の問題点について深く学びました。多くの日本人が、震災後あれほど原発事故の恐ろしさを目の当たりにして原発はダメだと言っていたのに、「原発をなくせば電力の供給ができなくなる」という国の施策(脅迫)の前に、思考停止にさせられ、何事もなかったかのように慣れさせられているという指摘が胸に突き刺さります。私たちの住む京都も、福井県の関西電力原子力発電所に依存している都市です。原発問題に関する正しい情報を集め、思考停止にならないように努めたいものです。

この12月は、イエス様のご誕生を祝福する月です。アドベント礼拝や京都市西文化会館ウエステイの大ホールを借りて年長のき組のこどもたちが行う12月19日のクリスマス礼拝など、行事がたくさんあります。また、毎年お世話になっております「クリスマス献金」の取り組みを始めさせていただきます。近日中に、献金封筒をお配りさせていただきますので、ご協力いただければ幸いです。

< 行事予定 >

12/3(火) アドベントコンサート	12/26(木)~12/28(土)
12/5(木) 幼児組 お誕生会	冬季家庭保育協力お願い期間
12/12(木) おべんとうの日 き組八瀬園外保育	12/29(日)~1/3(金) 冬期休園日
12/19(木) あお・き組 クリスマス礼拝	1/4(木) 保育始め・冬季家庭保育協力お願い日

< アドベント礼拝 >

	第一アドベント礼拝	第二アドベント礼拝	第三アドベント礼拝	第四アドベント礼拝
しろ・もも組	12/6(金)	12/13(金)	12/18(水)	12/25(水)
みどり・あか組	12/4(水)	12/10(火)	12/17(火)	12/24(火)
あお・き組	12/2(月)	12/9(月)	12/16(月)	12/23(月)

この日程で行います。

昨年度同様、アドベント礼拝の様子を動画で撮影したものを、後日DVDで販売させていただきます。

○冬期休園日は、長期休みになりますので、布団や上履き、帽子や引き出し・ロッカーの中の衣類の持ち帰りをお願いいたします。